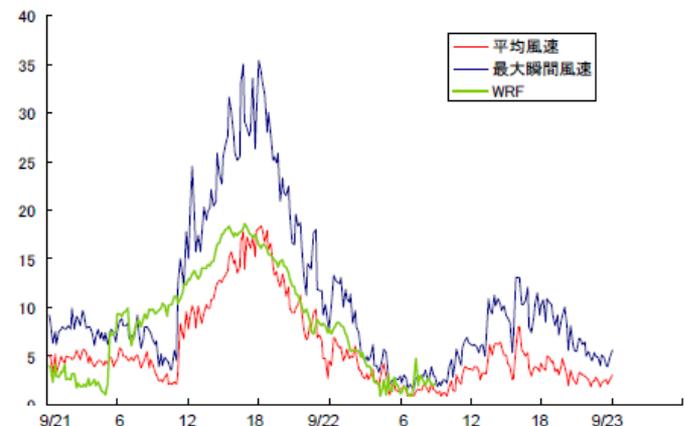


気象モデルの予測精度把握と建物スケールLESのネスティング技術の研究

清水建設(株)技術研究所 氏名：野澤剛二郎

- 目的：気象モデルWRFによる接地境界層における予測精度の限界とLESの必要性を検討するとともに、気象モデルと建物スケールLESのネスティング技術を研究することを目的とする。
- 内容：2011年15号台風を気象モデルWRFで再現し、気象官署などの記録と比較し、予測精度について検討した。また、one-wayカップリングをベースとした大気境界層型流入変動風生成手法において、WRF-LESと建物スケールLESをネスティングする上での解像度の影響について調べた。
- 結果：接地境界層におけるWRF予測精度に限界が見られた。One-wayカップリングにおける解像度の差は8倍程度であっても高波数成分は再現されることを確認した。

利用した計算機	SX-9
CPU時間	8時間
使用したメモリ	10GB
ベクトル化率	99%
並列化	16並列



WRFは地上10mの風速